

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 3 月 10 日作成)

小委員会名	鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	
設置期間	2019 年 4 月 ～ 2020 年 3 月 *設置終了を当初予定の2021年3月から変更	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鋼構造に関わる学会規準・指針の英文化を進め、逐次刊行すること。また、海外に示す刊行物としての問題や疑義を整理し、鋼構造関連出版物の将来の改定(訂)について提言すること。</p> <p>初年度:「鋼構造接合部設計指針(2012)」英語版の刊行準備を進める。「日本の鋼構造設計を世界に知ってもらうために(仮題)」と題した大会PDを開催する。</p> <p>2年度:「鋼構造接合部設計指針(2012)」英語版を刊行する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無:無</p> <p>主査:岡崎 太郎(北海道大学) 幹事:松本 由香(横浜国立大学) 委員:沖 晃司(JFEスチール) 倉田 真宏(京都大学) 小山 毅(東京大学) 高木 次郎(首都大学東京) 松井 良太(北海道大学)</p>	
設置WG (WG名:目的)		
2019年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無:有 委員会 HP アドレス: http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s43/

項目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD:日本の鋼構造設計を世界に知ってもらうために 参加者数 190名 『構造部門(鋼構造)パネルディスカッション資料:同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1.『鋼構造接合部設計指針(2012)』の査読を進めた。2019年度中に原稿を提出し、2020年半ばに刊行(ウェブで有償公開)できる見込みである。</p> <p>2. 大会PDを実施し、学会が刊行する鋼構造関連基準・指針類の将来発展を議論し、本小委員会が醸成してきた問題意識を発信した。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 当初掲げた活動目的を全て完了し、役目を終了したために、当初の予定を早めて2019年度をもって廃止することとした。